

# オーストリア・Relax社 ウッドスプリング Relax2000 調整法

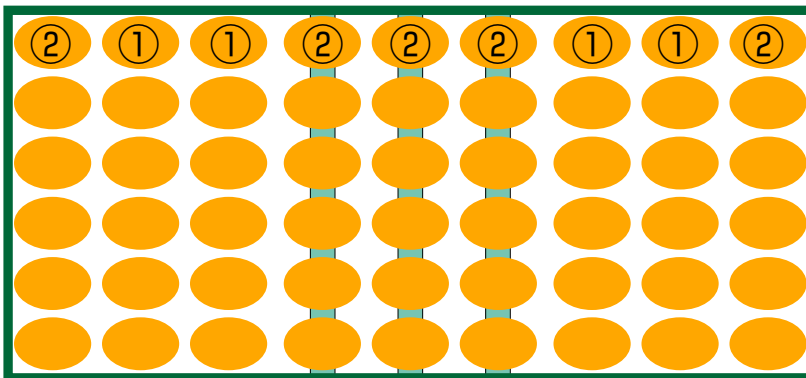


硬さ調節バー  
2本、  
両方とも柔らかい設定

硬さ調節バー  
2本、  
両方とも硬い設定



硬さ調節用バー



説明画像は一体式ですが、実際にお届けするのは両サイド2つ、中央部1つの3分割式になっています。

## Relax2000 の調整法

シングルサイズ(100×200cm)は6×9の54のパーツからなりたっています。このうち中央部の3列は重量がかかるために、ラテックスのシートで支えられています。硬さの調節は3カ所にコブがあるゴムの棒で行ないます。硬くする場合には、2つコブがある方を引っ張って内側のコブを引っかけます。右上の図のように、ユニットの下にある部分に引っかけられているバーの長さとお数によって硬さを変えられるのです。

1. バー 1 本で柔らかい
2. バー 1 本で
3. バー 2 本で両方とも柔らかい
4. バー 2 本で片方柔らか、片方硬い
5. バー 2 本で両方とも硬い

### 1. お届け時の設定

お届け時には上の図で①の部分には調節バーが1本、②の部分には調節バーが2本付いています。

中央部は2本+ラテックスシートで沈み込まないようにされています。3.の両方とも柔らかい設定になっています。①は肩の部分にあたり、横向き寝では沈み込む必要があるために調節バーは1本で柔らかい設定になっています。両端の②は本来1本でも良く、余分に1本付いていると考えて下さい。

### 2. ベルトの位置を調節する

13cmのマットレスと組み合わせて使う限り、それほど調節が必要なケースは少ないかもしれませんが。マットレスの腰部の沈み込みが気になる場合は、固めに設定して下さい。実際にはマットレスにハニカムシート等を入れる方がより効果が高いと思います。その場合はご相談下さい。

はじめてお使いになる場合は、慣れるまで2週間以上かかりますので、硬さの調節はそれ以降に行ってください。ことをおすすめいたします。

# ザルツブルグ、Relax 社訪問記



2010年5月末、姉妹都市交流50周年を記念した事業の最後、市民訪問団としてドイツ・アウグスブルグ市を訪れましたが、その機会にRelax社の工場見学と訪問を企てました。

ザルツブルグといえばモーツァルト、モーツァルトといえばザルツブルグというぐらい、有名なオーストリア・チロル地方の小都市はフランクフルト空港から45分。Relax社（正式にはSigl社）は市内から車で15分の風光明媚なところにあります。

たまたまキリスト教のお祭で、市内中も工場もお休みのところをお邪魔させていただきました。ケルンの展示会では十分に聞けなかった、製造方法や調整方法をチェックするためです。迎えてくれたのは長男のHerbert君。会社ではSigl社長と奥様がお出迎え。ご多分にもれず、ヨーロッパでは良い会社は家族経営がほとんどです。

いろいろと説明を受けましたが、それぞれの製品が工夫され、しかも環境に負荷を掛けないように作られています。なにより感銘したのは、工場の立地。緑と湖に囲まれた美しい地域です。ヒュスラーネストやカウフマン社もそうでしたが、気持ちの良い工場からは気持ちの良い製品が生まれるのでしょうか。

Herbert君と彼のガールフレンドのAlexandraと一緒にホーエンザルツブルグ城そばのレストランに案内してもらいました。のんびりして、気持ちの良いところです。

音楽の街でもあるザルツブルグでは市内のあちこちでコンサートを行っていて、たまたま入ったミラベル庭園の室内楽コンサートは日本人ピアニストの今川裕代さんでした。



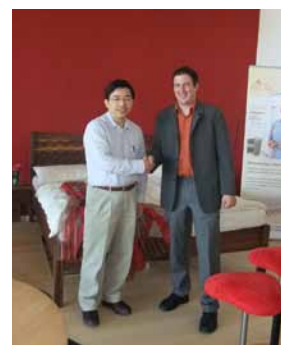
工場と事務所。昨年リニューアルしてきれいになっています



→これが Naturflex ウッドスプリング。日本で弊社だけが直輸入しています。  
↓より上級の Relax2000 ウッドスプリング



ホーエンザルツブルグ城



↑ショールームの中。美しい  
← Herbert 君と。ザルツブルグはカラヤン Herbert von Karajan の生まれ故郷だ。カラヤン広場がある